

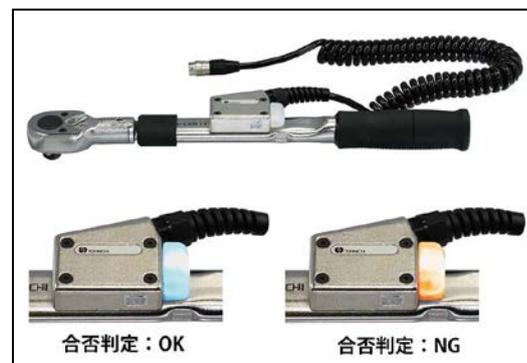
(株) 東日製作所 有線式データ伝送単能形トルクレンチをモデルチェンジ

電波環境の悪い作業エリアや無線機器が使用禁止の工場ニーズにも対応。

株式会社東日製作所は、設定トルクに達した際の「カチン！」で自動的に締付けトルクデータを有線で伝送する「有線式データ伝送単能形トルクレンチ CSPLD シリーズ」を開発し、2018/1/5 から受注を開始しました。シリーズラインナップは全8機種。締付けトルクはシリーズ全体で2~280N・m、締付けるねじの目安はM5~M20程度。全機種受注時生産品。

【製品名称】有線式データ伝送単能形トルクレンチ

【型式名】[CSPLD シリーズ](#) 【価格】181500円 ~ 185000円※税別



※新製品の例(上) : CSPLD100N3X15D に別売の交換ヘッドQH15Dを接続

【CSPLD 開発の狙い】今回開発したCSPLDシリーズは、既存品CSPDシリーズの改良版となります。東日では既に設定トルクに達した際の「カチン！」で自動的に締付けトルクデータを無線でデータ伝送する「クリック式無線データ伝送単能形トルクレンチFD/FDDシリーズ」を製品化していますが、電波環境の悪い作業エリアや無線機器が使用禁止の工場ニーズにも対応すべく、有線式での旧製品CSPDシリーズのモデルチェンジを行いました。

【CSPLDシリーズの特長】

- 1) 作業者の手で合否判定が確認：締付けトルクの合否判定結果を本体LEDで表示。作業者の手で容易に確認できます。
※合否判定LEDを点灯させるには、別途トルク表示器「[CD5](#)」が必要です。
- 2) 作業者に使用工具の指示が行える。(ツールガイダンス機能)
合否判定用LEDは、締付作業者に対して「使用すべき工具をLED点灯で知らせる」ツールガイダンス機能も兼ねます。
※使用工具指示を行うには別途管理用ソフトが必要です。
- 3) 有線で高い作業性と信頼性：従来のCSPDシリーズと比較しトルク値出力部を約60% (容積比) 低減。さらにカールコードを採用し、断線を防止して確実に締付けトルクデータを伝送します。
- 4) 作業者の使い慣れた「クリック式」のトルクレンチ。
[QL レンチ](#)のような使い慣れたクリック式トルクレンチにトルクセンサーを搭載。「カチン！」で自動的に締付けトルクを有線で伝送するので、いつもの作業で作業者に負担を掛けずにトルクデータの収集が行えます。
- 5) CSPLDシリーズは250種を超える標準在庫品の交換ヘッドが使用可能。短納期/安価で最適な作業を実現します。

【ターゲットユーザー】

輸送機器(自動車等)でのトルク管理。締付けトルクデータをエビデンスとして残す業務。

IoT (Internet of Things) を実施する生産現場。

【東日製作所】 <https://www.tohnichi.co.jp/>

株式会社東日製作所(本社：東京都大田区、設立年：1949年5月、代表取締役：辻修)はトルク機器のニッチトップメーカー¹です。Your Torque Partnerのブランドスローガンの下、トルク技術を通じて安全な社会の実現に寄与致します。また4つのサービス(製品サービス・ビフォアサービス・アフターサービス・ワールドワイドサービス)により安心して東日製品がお使い戴けるよう努力しております。

本リリースの問い合わせ先 (株)東日製作所 営業推進部 E-mail: sales@tohnichi.co.jp 電話：03-3762-2452 FAX：03-3761-3852

¹ 2014/3/17 発表、経済産業省の「グローバルニッチトップ企業100選」より